



会務報告

・去る9月7・8日の2日間、室蘭市において「全道ろうあ者大会」が開かれた。わが老人クラブから総勢19名（会員18名・準会員1名）参加しました。2日間快晴で、札幌より温かく、海からの微風が心地よく感じられました。

1日目の分科会はほとんどの会員が「高齢者の集い」に参加。清野茂先生の「手話を奪ったろう教育を批判し続けて」の講演には、健聴者も含め114名もの参加があり、地道な歴史調査の結果などを熱心に聞き入っていました。

この集いの受付は、わが老人クラブの役員、高島さんと佐藤百合子さんが担当されていましたが、本当にお疲れ様でした。

・わが老人クラブは、例会の初めに「ラジオ体操」を行っていますが、すっかり習慣化しています。ラジオ体操をリードしていただく人は、準会員の那須さんと清水さんです。お二人はスマホからの音に合わせてリズムカルに体を動かし、皆さんを先導してくれています。おかげ様で、例会のない日も自宅で体を動かす会員が増えたと思います。皆さんも例会のない日は毎日短時間でもよいので、体を動かしましょう。

・テレビのニュースによれば、札幌地下鉄電車には「専用席」があり、全国では珍しい設定だそうです。歩行困難で立つのがきつい高齢者や障害者にとってはありがたい席です。ひと時、席を譲ってもらえない事を経験した私たちにとってはありがたい席で、外出しやすくなりました。行政がバリアフリーをやってくれると嬉しいですね。

11月の行事計画表

日程	行事内容	会場
11月 7日	10時00分 ラジオ体操・会務報告 11時00分 高齢部共催 「わかりやすい スマホ教室」	情報センター 大会議室 川村佑介先生 (ソフトバンク会社) 詳細は同封にチラシをご覧ください。
11月 14日	10時00分 ラジオ体操と会務報告 11時00分 講演、 「つるつる路面の転倒 予防」	情報センター 大会議室
11月 21日	10時00分 ラジオ体操・報告会務 11時00分 室内ゲーム 「カーリントンを 楽しみましょう」	情報センター 研修室
11月 28日	10時00～ ラジオ体操・会務報告 11時00～ 老人寺子屋 「筋肉を貯金する？」	情報センター 大会議室 とも支援

ちしきの泉

南海トラフ地震（なんかいとらふじしん）ってなあに

「南海トラフ地震」とは、2030年前後に静岡県から宮崎県にかけて、広い範囲で起こるといわれている巨大地震です。その地震が起きると関東から九州までの地域で震度7以上の揺れが生じ、また、10mの津波が押し寄せます。そのため、最悪の場合、30万人もの死者が出ると予想されています。

す。経済でも東日本大震災の10倍の被害になるらしいです。富士山が噴火するともいわれています。北海道は遠いので、地震の揺れはないですが、津波には注意する必要があります。また、被災者の受け入れや被害地の支援などで大きな影響を受けるかもしれません。

T・T記

ご寄付ありがとうございました。

突撃インタビュー

若浜 ひろ子さん（年齢不詳）

- どこで生まれ、どこで育ちましたか？
●札幌生まれ、ずっと4歳から北区に住んでおります。
- 何歳で耳が聞こえなくなりましたか？
●2歳半、ストマイ注射のため失聴。5日間高熱が続くと命に危険がある状況で、ストレプトマイシン注射を受ければ効果はあるが、強い副作用があり耳が聞こえなくなった。
- どこの聾学校を卒業しましたか？
●幼稚部から中学部まで札幌聾学校、北海道高等聾学校（銭函）被服科和裁コース。
- 卒業後、どんな職場で務め、何年間でしたか？
●高校卒業後、和裁専門学校4年間通っていた。その後、和裁仕立てとして32歳まで家の中で内職していました。
- 今の職場に入ってから何年になりますか？
●札幌聴覚障害者協会職員になってから18年目になります。
- 仕事の内容を教えてください。
●手話講師及び事務職員。ほとんど札幌市ミニ講座、専門学校、小中校、大学などで手話講師をやっております。多くの方が聴覚障害、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度等についての理解を深めて、簡単な手話を覚え会話ができたらと思います。
- 若い時は、囲碁をやっていましたね。全道ろうあ者囲碁大会に出場しましたが、今も趣味としてやっていますか？
●囲碁を覚えたきっかけは小学3年ごろ、父が本を見ながら囲碁を打つ姿をいつも見ていたので、教えてほしいと言ったら、打ち方などの基礎から教えてくれたのが覚えたきっかけです。20歳ごろ、全道ろうあ者囲碁大会に参加したことがあり、女性は私だけで心細かったですが、周りの方が優しく励まして下さったことをはっきり覚えています。今もずっと趣味ですが、父は昨年亡くなったので代わりにスマホでアプリをダウンロードして囲碁ゲームをしています。本当はスマホより基盤に石を置いて対面で対局したほうが楽しくなります。いつか誰かと対局してみたい。
- 老人クラブ会員は囲碁をたしなむ人が一人しかいません。もし都合がよければ、来ていただいて教えてくださいね。
- 老人クラブは毎週木曜日に例会を開いて、楽しく交流していますね。私は仕事のため、出席できませんが、楽しく交流していることが新聞を読んでおります。いつか時間があれば参加したいなと思います。
- お母様の介護で忙しい中、インタビューに応じて下さりましてありがとうございました。（N記）

品名	寄附者名	金額
・雑巾（44枚）	佐藤百合子様	
・飴玉（4袋）	沼沢一夫様	
・ミニトマト（百数個）	那須美枝子様	
・雑巾（21枚）	佐藤順子様	
・切手売り上げ	札幌聾史研究会	250円
・雑巾（16枚）	佐藤百合子様	
・切手売り上げ	北区W新分会	1,428円
・寄付金	佐藤百合子様	500円
・寄付金	高島 猛様	500円
・お返し（お菓子1箱）	佐藤順子様	
・使用済切手（44枚）	沢田せつ様	
・		
・		
・		
・		

未記名の方は次号へ 合計 2,678円

会員・準会員募集中（あなたもぜひ）

新年度（4月1日から）の会費は年1,500円です。私たちと一緒に楽しく交流しませんか。会場は情報センターで毎週（木）10時から12時までです。

10月1日から郵便料金が変わりましたね。

- 定形郵便物（50グラムまで）
84円 → **110円**
- 通常ハガキ 63円 → **85円**
- 定形外郵便物 120円 → **140円**

2024年度「会費」納入者数（9月31日現在）

会費納入者 57人（未納者0人）

退会者 5名 会員数 57名

新入会者 4名 会員、準会員の区別なし

耳の雑学



耳に関する言葉を集めた。面白い使い方がけっこうありますね。

• 鍋の耳、水差しの耳

身近にある生活用品には、ものを掴むために「耳」がありますね。鍋を掴むと熱くてやけどします。そのために鍋の両側に二つの取っ手があります。それも耳と呼ばれています。水差しにも掴むところがあります。鍋の手話は、一部の方が「両耳を掴む」表現をしています。

• 地獄耳（じごくみみ）

人の秘密をいち早く聞きこんでいる事。又は一度聞いたことをいつまでも覚えていること。そういう人地獄の閻魔（えんま）さまが、落ちた人

の過去の悪事を全部知っているという例えに使われています。

• 龍の耳（たつのみみ）

龍は空想の動物です。龍には「つの」があります。その「つの」で音を感知します。使われなかった耳は、とうとう海に落ちて「タツノオトシゴ」になった。だから龍には耳がない。「聾」という字は、耳の聞こえない人を指すようになりました。

• 耳塚（みみづか）

戦国時代、敵国に攻めいった時に虐殺した人を戦功の証に鼻や耳をそぎ落とし、塩漬けにして持ち帰り、その地に埋め、供養の儀が行われたところすキリシタンの虐殺も行われた記録があり、おどろおどろしい話で、各地にその「耳塚」が残っています。

• 耳新しい（みみあたらしい）

→「初耳」とも言われ、初めて聞く事であること。手話では「初めて+聞く」と表現しますネ。

(N記)

「健康であるために何を食べるか」

老人寺子屋 → (とも支援)

今回は、毎日の食生活を考えるきっかけづくりでした。自炊、配達食、家族に任せている…など様々でした。中には外食や買ってきたもので3食すませている方もおりました。



特にどんな注意をしているかを出し合いました。皆さんから、いつも食べているものや好きな食べ物話し合いホワイトボードいっぱいに入りました。思い

込みでなく正しい知識を持つことが今回の主題であったが、話がそれ時間も足りなくて尻切れトンボに。それでも、フロアの発言を中心にして進めたのはよかった。この講義は、10月に「パートII」の講義をしていただくことになりました。

また、自分の嫌いなものや、アレルギー体質であることなども出しあえたのはよかったと思います。みなさんの栄養の偏りや食習慣が把握できた今回の講義は、次回のための教材になったと思います。



ここで「クイズ」です。

当たれば、あなたは歴史研究家！

北海道内ろう学校の旧跡として碑（いしぶみ）が、建立されている所はどこでしょうか？ また、何ヶ所になりますか？ 数えてみましょう。（答はページのどこかにあります。）

解説 これらの記念碑の建立者は、卒業生集団や父兄会、実行委員会などで募金して建立したところが多い。中には、聾学校が閉校したため残った同窓会費、父兄会費で建立したところもあります。聾学校関係者の碑も2か所あります。北海道は、全国的にも記念碑が多いところです。また、銅像も2か所・・・これは宿題です。

札幌協のホームページに

老人クラブの欄(らん)がありますよ

かねてから念願であった、札幌協ホームページに「札幌ろうあ者老人クラブ」のページを掲載することになりました。

主に「老人クラブニュース」の記事をそのまま4月号から10月号まで掲載しています。パソコンのある方は、ぜひ見て下さいね。検索方法は、「公益社団法人札幌聴覚障害者協会ホームページ」と入力すれば、読めます。これは全国版になり全国の仲間たちに読まれています。

クラブ現会員・旧会員が北海道 22 名中の8名!

日聴紙(9月号)の長寿者番付表から

9月1日に届いた日聴紙の7ページには、西の横綱に佐藤正子さんが99歳(旧会員)大関に松阪麗子さん98歳(現会員)関脇に木村ミツ子さん(旧会員)、小結に宮内昭治さん94歳(現会員)が並んでいました。そして前頭には、佐藤幹子さん(旧会員)、佐藤恒雄さん(現会員)、芦館聖子さん(現会員)、長谷川マリさん(現会員)がいました。いずれも90歳以上でした。

私たちの老人クラブは、いかに超高齢者会員が多いかが証明されました。

旧会員の多くは体調を崩して、施設に入居されて消息が分かりませんでした。ご健在であったことにほっと安堵しています。

来年もぜひ番付表に名前が残るようにお祈りいたします。



7・8・9月
生まれの人4人



去る9月5日、今年で2回目の誕生会が開かれました。左から清水優子さん(準会員)坂井完自さん(会員)、菅野直己さん(会員)鈴木旬史さん(会員)の4人でした。

中にはその日が誕生日と当たる人がいて、その偶然にやんやの喝采を浴びました。



沼沢会長のあいさつと祝い品を贈呈した後、厚別区の小川達己さんの「パントマイム」と「手品」の余興を行い、楽しい誕生会でした。

応援に駆け付けた会員が仲間たちの長寿を祝うとともに、余興を楽しんで解散しました。小川さん出演ありがとうございました。

見事なパントマイムを演じる小川達己さん

雑巾贈呈 ほほえみの郷に100枚

ほしかふれんごう
母子寡婦連合に100枚

毎年行っている「雑巾作成」活動は、女子部が少しづつ縫いたためやっと200枚集まりました。それを「ほほえみの郷」に100枚と「母子寡婦連合」へ100枚と分けて贈呈しました。それぞれの施設と団体に贈呈した時、お礼の言葉をいただきました。特に母子寡婦連合会の方が、連合会の場合は、市内にたくさんの支部があり、それぞれに分けて配り、役に立っていますと話をされました。



守屋幸子女子部長の話では、「要らなくなったタオルや古い敷布があったら、捨てないで老人クラブに寄付してください」と呼び掛けていました。

ご協力をお願いします。

雑巾→



クイズの答えは

5が所の場所は以下の通り。

- 1) 函館盲啞院
- 2) 室蘭聾学校
- 3) 小樽盲啞学校
- 4) 稚内聾学校
- 5) 八雲聾啞学院

関係者の碑は

- 1) 佐藤在寛校長(函館)
- 2) 小林運平校長(小樽)

旅行で寄るときは、ぜひ旧跡の碑を見学に訪れて下さいね。

全道ろうあ者大会 in むろらの報告会

老人クラブから19人が参加しました。それで去る9月12日の例会で、参加した人たちの報告会を開きました。

まず、セミナーに参加した人から報告。話によれば九州各県の調査報告では、各県の手話表現がまちまちであった事でした。

次に高齢者の集いに参加した人が報告されました。ろう教育の歴史に関する話で難しかった。又、手話通訳者が立つ場所が低くて手話がよく見えなかった。配った印刷ものの裏面が白紙で交換したとか、質問時間を設けなかったのかと不満が続出しました。

しかし、聞こえる人が6割も参加しており、戦前のろう教育はろうあ者の手話が奪われて苦悩した実態を明らかにした。参加者たちがそれを学んだことが大きな収穫であった。